

# Aikou

2024年 7月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

## 「真実は曖昧さの中に」

チャプレン 山田 和人

最近の若い世代にとって、平成の「モノ」はレトロなのだそう。私の手元にもあります。すっかり出番がなくなってしまったデジカメ。プロ仕様のカメラでなければ、画質は圧倒的にスマホの方が上です。それでも、なんとなくボヤッとしている写りの感触に魅力があるのだとか。曖昧であることは、人の考えでも態度でもはっきりしないと評価されがちです。でも、おおよそ人に関することはそんなにはっきりと白黒をつけられるものでしょうか。モジモジして自分の気持ちをはっきりと表現できないことは、その人が自分の考えや意見を持っていないからではありません。大学生に講義をしていて、何か質問や意見はありませんかと尋ねても、誰一人発言しようとはしませんが、指名したり、記述してもらおうと、案外ははっきりとその人なりの考えを持っていることがわかります。

子どもの発達と成長は伸びしろだらけです。真っさらなキャンバスに自画像を描くために、自分が日々経験していること、その時々のお気持ちを今はいっぱい溜め込んでいる時期です。焦らず、慌てさせず、子どもの成長の節目を静かに見守っていくことで、想像力を駆使したその子なりのユニークな作品が出来上がります。その作品は精緻である必要はありません。平成のデジカメのように、なんとなくボヤけて見える画像に、その子らしさが表現されていれば良いのではないのでしょうか。

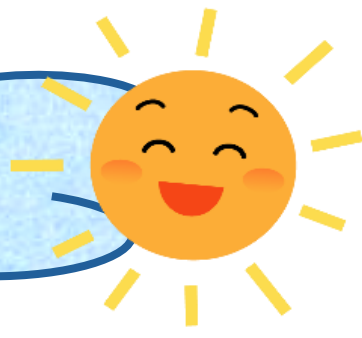
## 「ニュースを見て」

園長 富樫 立子

先日のニュースで、新米保育士が担当クラスの子どもの首にカッターでケガをさせた事件をみました。鳥肌が立つほど胸がドキドキと恐怖な思いでした。こんなことはあってはならないのです。どうしてこんな事件になってしまったのかも思いました。いろんな記事を読んでみると、この保育士はクラスの女の子の顔に跡が残るほどの重いケガをさせてしまい、保護者とトラブルとなり悩んでいたと書いてありました。若い先生だから、自分がしっかりと観ていなかった保育者としての力量不足や謝ってもそれだけでは済まない責任の重さでつぶされそうになっている心だったと考えられます。仕事をしていくうえで、誰もが失敗を経験することなのですが、私たち保育をしているこの仕事では子どもの命を預かっているのです。失敗が許されないことがあるのです。もっと幼稚園全体で、その先生にフォローできなかったのかな？心が不安定な状況に気が付かなかったのかな？なども考えながら、子どもたち一人一人を大切にしている保育をしているからこそ、先生方一人一人も大切に支え合い、神様に愛されているかけがえのない存在であることを伝えていきたいと感じました。

時折、虐待などの心が痛む事件がありますが、愛香南部幼稚園では神様が大好きな子どもたちと毎日豊かなあそびや経験を楽しみながら、感謝を持って過ごしていきます。

# くらす すけっち



すみれ組は、お散歩が大好きなR君のお陰で、ほぼ毎日お散歩に出かけて楽しんでいます。そして、お散歩に行くたびに、公園の水道で暑さのクールダウンも兼ねて水遊びをして帰っています。お水遊びが大好きなK君は、大胆に蛇口をひねるので水しぶきが飛び散って、大雨が降ってきます。K君は自分にかかってもへっちゃら！と言うより、それが気持ち良くて、びしょびしょになって遊んでいます。R君は、顔や体にしぶきが掛かるのが嫌でジャーと噴水の様に飛び散る水から逃げる事も…(;^\_^A それでも、水の流れや冷たい心地良さはR君も大好きなので、戻ってきて一定に流れる水を見たり触ったりと楽しんでいます。公園で沢山お水遊びをして帰ってからも、園でそのまま、ゆりさんと一緒にジャブジャブ池で遊んだり、たんぽぽさんと洗濯遊びや色水ジュース屋さん遊びも楽しんでいます♪梅雨に入りましたが、カップを着てお散歩に行ったり、お天気の良い日はいっぱい水遊びを楽しみたいと思います(^\_-)-☆

すみれ組 宮崎 詩世

例年よりのんびりした梅雨入りのおかげで6月は「泥」や「水」を使った遊びを満喫することができました。先日のファミリーデーでは少しその様子を見ていただくことができたかと思います。泥の感触にもあつという間に慣れて横目ですっかりとゆり組さんの遊びをチェック！どんどんダイナミックな遊び方に進化しています。日差しの強い日は車庫の下で「色水あそび」に「洗濯あそび」…贅沢に石鹸の泡もたっぷり使って組み合わせ「特製しゅわしゅわジュース」のかんせ〜い♡職員室に向かって「ひがしさ〜ん！」「りっこせんせ〜い じゅーすできたよ☆」と可愛い売り子さんの声が何度も聞こえました（笑）

普段はゆり組さんにプラスαで楽しくお得な経験をたくさんさせてもらっているたんぽぽ組ですが…時には別行動でよく「図書館」に出かけます。借りて返してまた借りて…なので月に2回ほど利用しています。職員の方々もいつも温かく出迎えてくれて、すっかり「常連」風の顔をして真剣に選んでいる姿がなんとなく微笑ましいです。

たんぽぽ組 北村 愛実



大きな行事“アスレバル”が無事に終わりました。暑さも心配でしたが、私たちの心配を吹き飛ばすかのように元気いっぱいの子どもたちでしたね。若草幼稚園と一緒にパラバルーンをするため、若草幼稚園に出掛けていきましたが電信柱の広告に“若草幼稚園 すぐそこ”と書いてあるのを発見！！「すぐそこってかいてあるから、もうつくね！」と歩いてみたもののなかなか着かず…（車で移動すると“すぐそこ”ですが、歩くとなかなかの距離です（笑））「すぐそこってかいてあるのに…」とつぶやきながら若草幼稚園に到着！！探検しながら歩いていると、子どもたちの目線にはたくさんの気づきがあることに改めて気づかされました。6月はアスレバル、河川敷や大乘寺丘陵公園へのお出かけ、梅拾い、そして北陸学院第一幼稚園で遊ばせてもらったり…と、小さな幼稚園ですがたくさんの経験をさせてもらいました。7月は楽しみにしているお泊り保育もあります。子どもたちと相談しながら楽しく過ごせるように計画していこうと思います。

ゆり組 氣谷 彩子



あそびの中から

大乘寺公園にバスでお出かけに行ってきたときの事。公園に着くと、なぜか足早に歩いてみんな。嬉しくて体が勝手に動くんでしょうね。林の中を歩いて見えた開けた景色は、なんとも言えない最高の金沢を一望した景色でした。

お山の上から街並みを見渡しながら、自然に笑みがこぼれたみんな…そして…わああああああ…と芝生の丘を走る子、転がってみる子、そーっと歩きながら降りていく子、それぞれ思いっきり満喫していました。

そうそう、途中でみんなを歓迎してくれた黄色のちょうちょうさん。待て待て〜！と追いかけてとっても楽しそうでしたよ。次はお弁当持って、また来たいなあとつぶやいた子どもたちでした。

櫻井 真澄

